

令和5年度 第43回近畿高等学校空手道大会実施要項

(第43回全国高等学校空手道選抜大会近畿地区予選)

主催	近畿高等学校体育連盟	和歌山県教育委員会
後援	(公財) 全日本空手道連盟 (公財) 全国高等学校体育連盟空手道専門部	全日本空手道連盟近畿地区協議会 和歌山県空手道連盟
主管	近畿高等学校空手道専門部	和歌山県高等学校体育連盟空手道専門部

1 期 日 令和5年12月26日(火)～28日(木)

2 会 場 和歌山ビッグホエール
〒640-8319 和歌山市手平2-1-1
TEL: 073-433-0035

3 競技種目 男子団体組手(5人制・3人制)・男子団体形
男子個人組手(選抜予選(-55kg、-61kg級、-68kg級、-76kg級、+76kg級)・統合戦)
男子個人形
女子団体組手(5人制・3人制)・女子団体形
女子個人組手(選抜予選(-48kg、-53kg級、-59kg級、-66kg級、+66kg級)・統合戦)
女子個人形

4 日 程	12月26日(火)	8:00～10:00	会場準備
		10:00～11:00	受付・計量
		10:30～11:00	審判・監督会議
		11:20～11:40	開会式
		12:30～18:00	競 技 男女個人形競技(～決勝) 男女個人組手競技(選抜予選決勝)
	12月27日(水)	8:00	実行委員集合
		8:15	体育館開館
		8:30～9:00	審判打ち合わせ
		9:30～16:55	競 技 男女団体形競技(第1ラウンド～決勝) 男女個人組手(統合戦) 男女団体組手(3人制)競技(～決勝)
			12月28日(木)
8:15	体育館開館		
8:30～9:00	審判打ち合わせ		
9:30～15:30	競 技(～決勝) 男女団体組手競技		
15:40～16:00	閉会式		

※ 計量について 男女個人組手(選抜予選)に出場するすべての選手は、計量時間内に計量を受け、参加資格の確認を受けなければならない。

実施日時 12月26日(火) 10:00～11:00 (この時間帯であれば何度でも計量することができる)

実施場所 男子:控室1 女子:会議室

服 装 男女とも上衣は半袖Tシャツ、下衣はスパッツ(ハーフサイズ)とし、計測値から0.5kg引く。

失 格 この時間帯に計量を受けなかったり、あらかじめ届け出た階級の体重区分に適していない選手は失格となり、男女個人組手(選抜予選)の出場資格を失う。ただし団体組手においてはその限り

ではない。体重区分に適していないというのは、規定体重を超えた場合だけでなく、規定体重に達していない場合も含む。

- 5 競技規定 (公財) 全日本空手道連盟制定の空手競技規定に準じて行い、運用については(公財) 全国高等学校体育連盟空手道専門部の申し合わせ事項による。
- 6 競技方法
- ①形競技は得点方式、組手競技はトーナメント方式で行う。
 - ②組手競技について
 - ア：選抜予選(全国高校空手道選抜大会近畿予選)
体重別でトーナメントを実施し、各階級で全国選抜大会への出場者を決定する。すでに全国選抜への推薦出場権を獲得している選手は出場できない。
 - イ：統合戦(近畿高校空手道大会 男女個人組手競技)
アの全国選抜予選で各階級1位の者と全国選抜の推薦出場権を得ている者でトーナメントを実施する。このトーナメントでの結果が個人組手競技の順位となる。
 - ③団体競技において、登録されたメンバーの枠の中で、各回戦(形はラウンド)のオーダーの変更はできる。ただし、試合ごとにオーダー票を提出すること。提出後の変更は認めない。
 - ④個人競技において登録された選手の変更は認めない。
 - ⑤個人形競技の第1ラウンドは(公財)全日本空手道連盟指定形(第1・2どちらでもよい)とし、第2・3ラウンド及び3位決定・決勝は得意形とする。各ラウンド毎に演武する形は変えること。但し、第1指定形・第2指定形及び得意形は空手道競技規定(JKF2019 初版)の「付録17:得意形リスト」並びに「付録18:得意形リスト」から選択しなければならない。
 - ⑥団体形競技の第1・2ラウンドは(公財)全日本空手道連盟指定形(第1・2どちらでもよい)とし、同一形でも異なる形でもよい。第3ラウンドは第1・2ラウンドで使用していない形とし、3位決定・決勝はそれ以前に使用していない形とする。
また、決勝戦、3位決定戦で「形の分解」を導入する。
 - ⑦各ラウンド上位進出決定及び3位決定・決勝で同点が出た場合、再演武を行う。演武する形は、そのラウンドで使用した形以外を選択し演武すること。再演武した形は、本選で使っていなければ、以降のラウンドで演武することができる。
 - ⑧団体組手競技(5人制)は、3回戦以降では勝敗がついた段階で終了する。
 - ⑨団体組手競技(5人制)は既定の過半数(3人)で成立する。エントリーは自由に配置できる。
 - ⑩団体組手競技(3人制)は、2回戦以降(参加校が16校以上あった場合)では勝敗がついた段階で終了する。
 - ⑪団体組手競技(3人制)は既定の過半数(2人)で成立する。エントリーは自由に配置できるが、対戦する双方のチームが2人エントリーの場合のみ、配置は前詰めとする。
- 7 審判員 (公財) 全国高等学校体育連盟空手道専門部公認審判員の内、近畿高等学校体育連盟空手道専門部が要請した審判員とする。
- 8 引率・監督
- ①引率責任者は、団体戦の場合は当該校の校長が認める当該校の職員とする。
個人戦の場合は当該校の校長が認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、当該府県高体連会長に事前に届けること。引率責任者は当該校の選手・参加生徒のすべての行動に対して責任を負うこと。
 - ②監督・コーチは当該校の校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険など)に必ず加入すること。
- 9 参加資格
- ①選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
 - ②各府県高等学校体育連盟に加入している高等学校の1・2年生(定時制課程は3年生まで認める)で近畿高等学校空手道大会参加資格を得たものに限る。
 - ③ア：選手は平成17年(2005)年4月2日以降に生まれたもので、19歳未満のものとする。但し、同一学年での出場は一回限りとする。
イ：特例として、この③アに定める年齢制限について、中国等帰国生徒については適用しない。

- ④チームの編成にあたって、全日制課程・定時制課程・通信制家庭の生徒による混成チームは認めない。
- ⑤転校後6ヵ月未満の者の参加は認めない。但し、一家転住などやむを得ない場合は各府県高体連会長の認可があればこの限りではない。
- ⑥出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び府県高体連空手道専門部長の承認を必要とする。
- ⑦（公財）全日本空手道連盟の令和5年度登録競技者であること。
- ⑧引率者のいない学校の出場は認めない。
- ⑨参加資格の特例
 - ア：上記①・②に定める生徒以外で、当大会実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、府県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ：上記③アの但し書きについては、学年区分を設けない課程に在籍する生徒の場合は、同一競技3回限りとする。
 - ウ：上記④において、統廃合の対象校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

【別途に定める規定】

- I. 学校教育法第82条の2、83条の学校に在籍し、府県高体連の大会参加を認められた生徒であること。
- II. 以下の条件を具備すること
 - ①大会参加資格を認める条件
 - ア.（公財）全国高体連の目的、永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ. 各学校にあっては、府県高体連の予選会から出場が認められ、近畿大会への出場条件が満たされていること。
 - ウ. 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間などが高等学校に比べて著しく均等を失っておらず、適切な運営が行われていること。
 - ②大会参加に際して守るべき条件
 - ア. 本大会の実施要項を厳守し、（公財）全国高体連空手道専門部ならびに本大会の申し合わせ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ. 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ. 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

10 参加制限 ①各府県の参加上限を下記のとおり定める。（各府県の加盟校数に準じる）

競技 府県名	男子										
	団体			個人							
	組手 (5人制)	組手 (3人制)	形	基本枠	組手					府県 裁量数	形
-55 kg					-61 kg	-68 kg	-76 kg	+76kg			
和歌山県	4	2	4	8	1	1	1	1	1	3	6
奈良県	3	2	3	7	1	1	1	1	1	2	5
滋賀県	2	2	2	6	1	1	1	1	1	1	4
京都府	4	2	4	8	1	1	1	1	1	3	6
大阪府	8	4	8	10	1	1	1	1	1	5	8
兵庫県	8	4	8	10	1	1	1	1	1	5	8
開催地追加	1	1	1	2	同一階級1名まで					2	2

競技 府 県 名	女子										
	団 体			個 人							
	組手 (5人制)	組手 (3人制)	形	基本枠	組手					府県 裁量数	形
					-48 kg	-53 kg	-59 kg	-66 kg	+66kg		
和歌山県	4	2	4	9	1	1	1	1	2	3	6
奈良県	3	2	3	8	1	1	1	1	2	2	5
滋賀県	2	2	2	7	1	1	1	1	2	1	4
京都府	3	2	3	8	1	1	1	1	2	2	6
大阪府	8	4	8	11	1	1	1	1	2	5	8
兵庫県	8	4	8	11	1	1	1	1	2	5	8
開催地追加	1	1	1	2	同一階級1名まで					2	2

※ 個人組手は同一階級最大3名とする。ただし、総出場数9名以上となる府県は最大4名以上とする。

開催府県枠の階級は任意とする。

※ 令和5年度全国高校総体団体組手優勝校、令和5年度全国高校代表選手は本年度全国高校空手道選抜大会への推薦出場権を有しているため、当該府県からの参加申請があれば、上記当該府県の参加上限の枠外で当大会への参加を認める。

②1チームの制限人数は次のとおりとする。

種 目	正選手	補 欠	合 計
男子団体組手競技 (5人制)	5	3	8
男子団体組手競技 (3人制)	3	1	4
女子団体組手競技 (5人制)	5	3	8
女子団体組手競技 (3人制)	3	1	4
男子団体形競技	3	3	6
女子団体形競技	3	3	6

③各校、監督1名・コーチ1名・マネージャー1名の参加を認める。

11 参加費 ①団体種目 1チーム 18,000円
②個人種目 1人一種目 4,000円

12 参加申込 ①締切期日 令和5年11月15日(水)必着
②申 込 先 〒649-0304 和歌山県有田市箕島55番地
県立箕島高等学校 井本 匠 宛
③申込方法 各出場校から直接「参加申込書」「エントリー票」(校長印を捺印)を上記申込先に
《レターパックライト》で送付すること。また、データはメールで、
(imoto-t007@wakayama-c.ed.jp) 県立箕島高等学校 井本 匠宛てに送信すること
④振 込 先 参加費を下記の口座に振り込むこと。
きのくに信用金庫 箕島駅前支店
口座番号 普通 9070278 井本 匠
※読み仮名はイモト タクミです

13 表 彰 個人組手(選抜予選・統合戦)は3位まで賞状と賞品を授与する。その他の種目は、3位まで賞状と賞品を授与し、5位(形は7位まで)は賞状を授与する。

14 抽 選 会 近畿高体連空手道専門部が主管して執り行う。なお、公開抽選とする。
日時: 令和5年11月25日(土) 13:00~15:00
会場: 和歌山ビッグ愛 12F 会議室

15 宿泊・弁当 別紙で指定旅行代理店に申し込むこと。

16 会 議 ①役員会議 令和5年12月26日(火) 9:00~10:00 特別室
②審判・監督会議 令和5年12月26日(火) 10:30~11:00 軽運動場

17 事故処理 協議中の疾病や傷害の応急処置は大会開催地にて行うが、その後の処置は各府県・各校の責任で行うこと。傷害保険の加入の上実施するが、参加校においても万一の事故発生などに備えて、万全の

事故対策を講じておくこと。（選手は健康保険証を持参のこと）

18 肖像権

本大会の模様を動画配信(ライブ配信)することがある。

その際の肖像権の取扱いについて下記の通りとする。

①近畿高体連空手道専門部が認めた報道機関等によって撮影された映像が中継・録画放映及びインターネットにより配信されることがある。

②大会参加申込書の提出により、前記①の取扱いに関する承諾はいただいたものとして対応する。

③肖像権についての質問等がある方は下記まで連絡すること。

近畿高体連空手道専門部本部 大阪学芸高校 近藤 永(こんどう えい) TEL06-6693-6303

19 連絡事項

①プログラムの無償配布は、各校ともエントリー正選手分+1冊とする。

②空手道衣とネーム等

ア. 空手道衣は白無地一色とし、落書きやふちどりのあるものは禁止する。

空手道衣上下は高体連指定ラベル（黒色）が貼ってあること。

また、帯の色は白・茶・黒いずれかとする。競技については、赤・青帯を使用する。

a. 上着の袖の長さは手首までとし、前腕の中ほどより短くてはならない。上着の袖の空きは、袖全体にわたって袖と腕との間が8cm~20cmとする。上着の袖をまくってはならない。

b. ズボンの長さは少なくとも下肢の3分の2を覆うほどの長さとし、踝（くるぶし）が隠れてはならない。ズボンの空きは、ズボン全体にわたってズボンと脚の間が8cm~20cmとする。裾をまくり上げてはならない。

※上記はいずれも「気を付け」の状態で判断する。

c. 競技用赤・青帯については、個人または学校で準備し着用すること。（指定業者（東海堂・守礼堂・ヒロタ）のもので、高体連指定ラベルを縫い付けたものに限る。）

イ. 空手道衣の左胸に入れる校名は、次の基準による。

a. 一文字の大きさは5cm×5cm~7cm×7cmとする。（縦書で全体の大きさ7cm×15cm程度）

b. 字体は丸ゴシック・行書・楷書の範囲とする。

c. 文字の色は黒または紺またはスクールカラーとする。但し、色を合わせて使うことはできない。

ウ. 空手道衣の左袖上腕部に入れる府県名は、次の基準による。

a. 一文字の大きさは5cm×5cm~7cm×7cmとする。

b. 「府」「県」の文字は入れなくてよい。

c. 字体・文字の色については、上記のイのb、cに準ずる。

エ. 空手道衣に入れる個人名は、次の基準による。

a. 入れなくてもよい。入れる場合は黒色とする。（白色も禁止）

b. 入れる場合は、自分の姓（名字）またはフルネームであることが望ましい。

c. 入れる場所は所定の位置とする。（道衣の背中に個人名を入れるのは不可）

オ. 上着の腰紐が付いているものを着用し、試合時は縛ってなければならぬ。また、上着の胸紐は付けてはいけない。

カ. 空手道衣の背部に、全国高体連指定の「令和5年度 都道府県大会・地区大会用ゼッケン」を縫い付けること。四隅ではなく、四辺をしっかりと縫い付けること。

③組手競技では、次の安全具を着用のこと。（男子5点、女子4点）

ア. ニューメンホーVI・VII（全空連検定のもの）

イ. 拳サポーター赤・青（全空連検定のもの）

ウ. ボディプロテクター（高体連指定またはミズノ製のもの）

エ. セーフティカップ（男子のみ、空手道衣の下に着用のこと）

オ. シンガード・インステップガード（高体連指定のもの）

カ. マウスピースを使用してもよい（任意）。ただし、色は白か透明なものとする。

④組手競技・形競技ともにメガネ・コンタクトレンズ（ハード）の使用は禁止する。

ただし、コンタクトレンズ（ソフト）の使用は個人の責任において認める。

⑤監督

ア. 監督はトラックスーツ（ジャージ）を着用し、あらかじめ届けだされた者に限る。（学校長が認めた者）但し、トラックスーツには学校名を入れるものとし、入れる場所、大きさ、事態は問わない。また華美なトラックスーツは避ける。（スクールカラーは可）※ハーフパン

ツのトラックスーツは禁止する。

イ. 監督と審判員を兼ねることは出来ない。(大会プログラム記載のみ認める)

ウ. 監督は各校1名とするが、競技日程の関係で男女あるいは選手が重複して出場し、同時進行になった場合に限り、運用として当該校の校長が認めた顧問・コーチが、その競技のみの臨時監督を務めることができる。

ただし、事前に競技委員長に申し出る義務を有する。

⑥選手の頭髪は、空手道を学ぶ者らしく清潔で端正なものとする。

男子はスポーツマンらしい頭髪にし、ながくても「まゆげ」にかからず、「耳」が見え、「エアアシ」が見えるように整髪する。女子は、ヘアピンなどの危険物の使用及びリボン・鉢巻の使用を禁止する。

⑦怪我などを患っている生徒については、監督の責任で出場をとりやめること。

⑧審判員の服装

高体連ネクタイ・靴(黒色無地、踵・紐のないもの、全空連指定のものが望ましい)

ズボン(グレー系の無地)・ブレザー(紺色、シングル・エンブレム)、白色長袖カッターシャツ